

## ハウスなし「幸水」における黄色LEDを用いたカメムシ類防除効果の実証

### 要約

ハウスなし幸水において、施設の周囲や谷間などに黄色LED（7台/10a）を設置することで、カメムシ類成虫のハウス内侵入を抑制し、なし果実の吸汁害を一定程度抑えることができる。

### ○ 展示のねらい

ハウスなしでは、天敵製剤による防除技術が定着し、殺虫剤は選択性の高い農薬を使用している。そのため、カメムシ類が多発した年においては、ハウス内等への侵入により、なし果実の吸汁害が深刻化することがある。

そこで、施設野菜等で普及している黄色LEDをハウスなしのカメムシ類防除に応用し、現地ほ場での防除効果を実証した。

### ○ 主な成果

ハウスなしの生育期（4～7月）において、カメムシ類の発生は比較的多かったものの、なしへの飛来は少なく、LED設置区及び無処理区とも果実の吸汁害はほぼ見られなかった（図1、表1）。

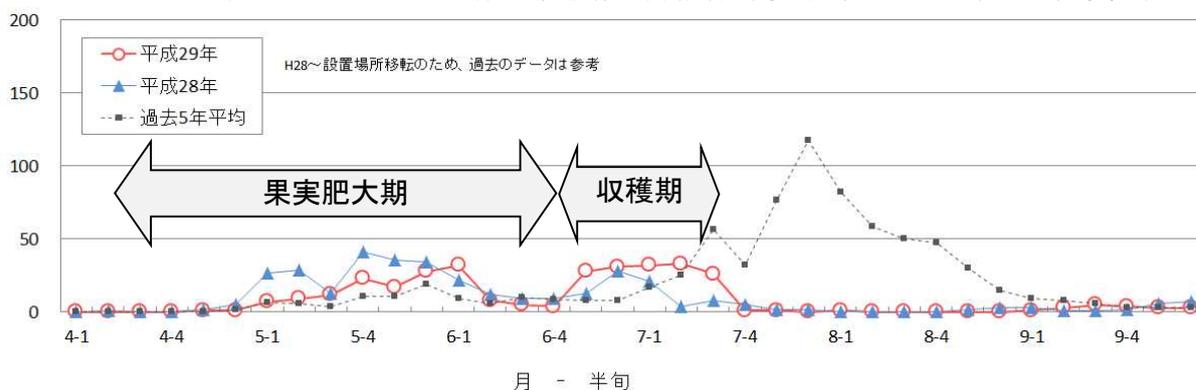
なお、担当農家への聞き取りでは、例年収穫前にカメムシ類による被害果が見られるが、今年はその被害が半減したとのことから、ハウスのような侵入場所が限定されるところでは、黄色LEDの設置による防除効果は一定程度あると判断された。

また、黄色LEDの設置による他害虫の増加やなし生育に対する影響はなかった。

表1 カメムシ類による吸汁害の発生状況

	収穫始め (7月19日) 被害/調査数	収穫盛り (7月7日) 被害/調査数
LED設置区	1/830 果	1/285 果
無処理区	0/909 果	0/132 果

図1 チャバネアオカメムシ成虫誘殺数（県農業環境指導センター調査：芳賀町）



### ○ 今後の方向性

ハウス栽培は、露地栽培に比べて害虫の発生が多いことから、天敵製剤と黄色LEDを組み合わせた防除体系を推進し、産地への普及定着を図る。

実施機関：芳賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：芳賀町

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315